

AREA.Wakayama-Pref./AREA.Osaka-Pref./
AREA.Hyogo-Pref./AREA.Okayama-Pref./
AREA.Hiroshima-Pref./AREA.Yamaguchi-Pref./
AREA.Tokushima-Pref./AREA.Kagawa-Pref./
AREA.Ehime-Pref./AREA.Fukuoka-Pref./
AREA.Oita-Pref.

和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、
徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県

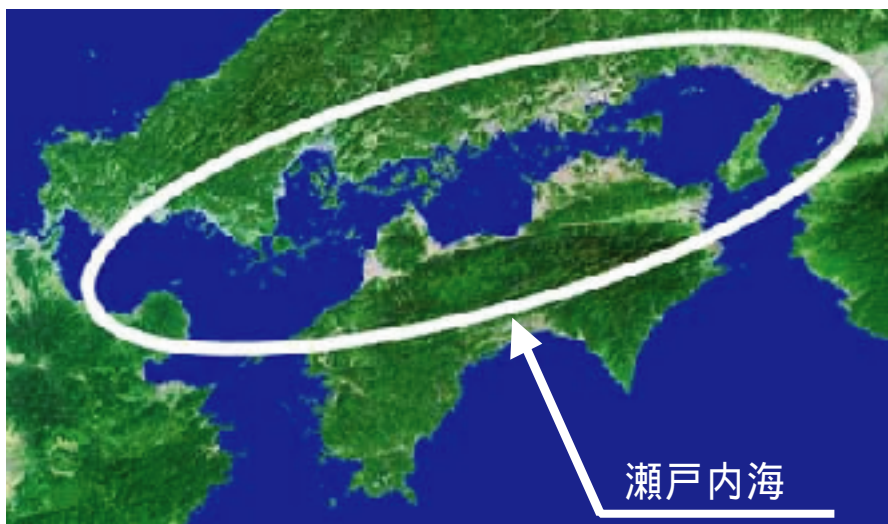
51 瀬戸内海

せとないかい

SETONAIKAI

海域の概要

本湾は、日本で最も大きな内海です。本州・四国および九州に囲まれ、紀伊水道と豊後水道で太平洋に、関門海峡で日本海に開いています。領域内には大小約 700 の島々が存在します。



Specification

諸元

湾口幅：1 3 0 3 k m

面積：2 1 8 2 7 k m²

湾内最大水深：1 0 5m

湾口最大水深：1 0 5m

閉鎖度指標：1 .1 3

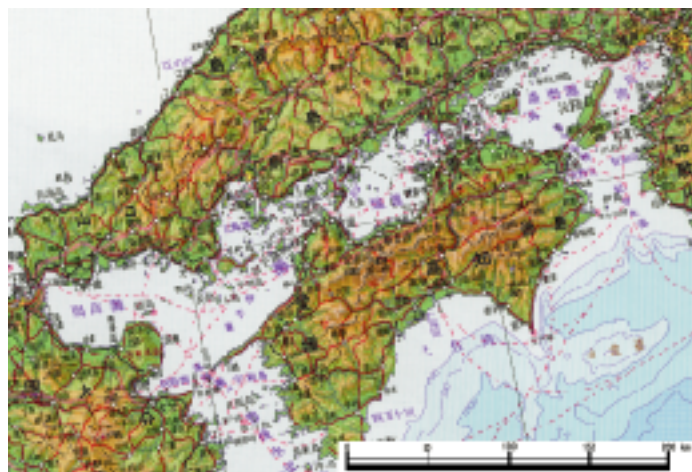
備考：総量規制区域

環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

瀬戸内海環境保全特別措置法第 2 条第 1 項に規定する海域（和歌山県紀伊日の御岬燈台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬に至る直線、愛媛県佐田岬から大分県関崎燈台に至る直線、山口県火ノ山下燈台から福岡県門司崎燈台に至る直線及び陸岸によって囲まれた海面）



環境

瀬戸内海には1級河川だけでも21水系が流入し、また沿岸部は工業化が進むとともに居住人口も多く、これらからの汚濁負荷により水質悪化が進んでいます。特に960年代の工業化の飛躍的進展と水質浄化を担う浅瀬の消失により汚染が急激に進みました。このような中、1972年には播磨灘で大規模な赤潮が発生し、ハマチなどの養殖魚に大規模な被害を与え、その後も毎年のように赤潮が頻発しています。このため、環境改善のための様々な施策がとられ、1973年に「瀬戸内海環境保全臨時措置法」が制定され、1978年には「瀬戸内海環境保全特別措置法」として恒久法化されました。

CODの水質総量規制や埋め立てにあたっての特別の配慮、窒素・燐の削減指導などが行われており、今後CODに加えて窒素・燐を対象とした水質総量規制が予定されています。

自然

瀬戸内海には、白砂青松の海浜と700余りの多くの島々(外周0.1km以上)をもち、人文的要素と自然の調和がとれた美しい内海で、雲仙国立公園 霧島国立公園とともに我が国最初の国立公園として指定されました。また、淡路島の慶野松原や岡山県の渋川、山口県虹ヶ浜、室積など1カ所の海水浴場が「日本の水浴場88選」に選ばれ室積海水浴場は「日本の名松100選」「日本の渚100選」に選ばれています。



ナメクジウオ

生物相も多様で、瀬戸内海には400種を超える魚類を始め、多くの水生生物が生息し、これら生物の繁殖する干潟や藻場も多くあります。

珍しい生物として、地域指定の天然記念物となっているカブトガニ、ナメクジウオ、スナメリなどが知られています。

文化歴史

瀬戸内海地域は、昔から日本の政治・経済・社会・文化のいろいろな分野にわたって、いつも先進的な歩みを進めてきました。この大きな要因として、大陸の中国などの文化が主として北九州から、大和(今の奈良)の方面へと伝えられる際に、瀬戸内海地域がたえずこの橋渡しの役割を果たしてきたためです。

瀬戸内海では、1999年5月の本四連絡橋の今治ルート完成により本州と四国が3本のルートで結ばれることとなりました。

産業

現代の瀬戸内海は、沿岸地域の工業化により、魚介類の産卵場や漁場が少なくなり、代りに沿岸の漁業は、ノリ、カキ、ハマチ、クルマエビなどの養殖が盛んになってきました。

瀬戸内海の工業地帯は、昭和30年頃から重化学工業が中心となって、石油コンビナートや製鉄所などが建設され、瀬戸内海の各地に臨海工業地帯が建設されました。瀬戸内海地域では、このような産業で全国の約30%にもものぼる出荷額があります。また、瀬戸内海の港湾の貨物量は、全国貨物量の約5割を占めており、その量は年間6億トンに達しています。



マイワシ漁